

吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



目次

1. 表紙「万年筆」
2. 会長コラムと表紙の絵説明
3. 自然エネルギーすいた (SES) ニュース
 - ・太陽光発電は載せたら損をする?
(日経アーキテクチャの記事から)
 - ・吹田ぷくぷく市民共同発電所 報告
4. 生きもの委員会ニュース
 - ・北千里希少植物観察会 (10月12日)
 - ・大阪自然史フェスティバル2023への参加
6. 生活環境委員会ニュース
 - ・2023 神崎川河畔プラごみゼロアクション
9. まちなみ委員会ニュース
 - ・景観探訪③ ~変わりゆく山田のまちなみを巡る~
11. 知床あれこれ
 - ・人とヒグマの距離が近い知床
12. お知らせ
 - ・「森のクラフト」について
 - ・〈実施報告〉浜屋敷「秋の手づくり市」
 - ・〈おしらせ〉
江坂大池地区公民館
12/10(日)「環境保全講座：森のクラフト」

春夏秋冬

会長 小田忠文

地球温暖化の原因が、CO₂ やメタンやフロンなど温室効果ガスが原因であることを疑う人はいないでしょう。すいた市民環境会議は、会報誌 2002 年 8 月通巻 26 号 8, 9 頁に掲載したように、すでに 20 年前から「使わない部屋の電気は消しましょう」「歯磨き中の水はとめましょう」などと私たちのライフスタイルを見直すことを唱えてきました（過去の会報誌はホームページから読めます）。▲環境省は今年の夏、「デコ活」という国民運動を提唱しました。まだまだ認知度は低く「何のこっちゃ？」と思う人が多いでしょう。これは「脱炭素な暮らしをめざす国民運動」の愛称で、7 月末に発表されました。「デコ活」の「デ」は「Decarbonization（脱炭素）」、「コ」は「CO₂」の意味で、環境に良い「エコ」の響きも意識し、「活」は「生活」や「活動」を意味するとのこと。▲国は温室効果ガスの排出を 2050 年までに実質ゼロ、いわゆる「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言しています。それ以前の 2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度比 46%削減を目指しさらに 50%削減にも努めることを表明しています。2030 年度の目標実現に向けて国民のライフスタイル変革が必須だとして、新しい国民運動をはじめに際しその愛称が発表されたということです。▲環境省は 2005 年に夏季に過度な冷房に頼らず快適に過ごすライフスタイル「クールビズ」を提唱しました。この言葉は 2005 年の新語・流行語大賞のトップテンに選定されました。環境省は今回の「デコ活」もクールビズレベルの流行を狙っているらしいですがイマイチ話題になっていません。

ネーミングはイマイチですが運動の内容は私たちが心がけていくべきものです。▲みなさんもデコ活をググって勉強してください。簡易型ライフスタイルのチェック方法は会報誌 139 号 6, 7 頁に記載しています。環境省はデコ活を国民に広めるため 11 月から“デコ活アクション 大喜利大会”と称して・デ電気も省エネ 断熱住宅・コこだわる 楽しさ エコグッズ・カ感謝の心 食べ残しゼロ・ツつながるオフィス テレワーク、というようにデコカツの文字を使ったアクション標語の募集を始めました。デコ活をしながら標語を考えてみることは認知症予防に役立つかもしれません。▲環境省が提唱した言葉で日常語になったものにエコバッグ、ヒートアイランド、SDGs などがあります。厚労省関係ではメタボとかロコモ、最近ではフレールも新語として歩きだしています。メタボは政府が 2000 年に国民運動とし提唱したメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の省略形で 6 年後の 2006 年に新語・流行語大賞のトップテンに入賞し、その後日常用語になりました。▲翌年の 2007 年に日本整形外科学会がロコモティブシンドローム（運動器症候群）を提唱しました。加齢に伴う筋力の低下や骨粗しょう症などにより運動器の機能が衰えて、寝たきりやそのリスクの高い状態を表す言葉です。その省略形のロコモもようやく市民権を得たようで、最近フレール（加齢により心身が老い衰えた状態）という新語も耳にする機会が増えてきました。あわせて健康寿命も重要な言葉になってきました。▲仮に「デコ活」が「メタボ」のように提唱から 6 年後に新語・流行語大賞にノミネートされても、そのときはすでに 2030 年になっています。私たちはライフスタイルの見直しを急がねばなりません。

<表紙の絵>

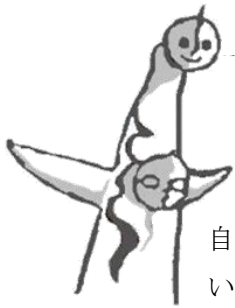
思い出の原風景シリーズ（19）

「万年筆」

かつての男子高校生の服装は、ほとんどが「つめ襟」で、黒か紺の学生服だった。その頃のアルバムの集合写真などを開くと、学生服の「胸ポケット」に、「万年筆」をさしているのに気づいた。青春時代から馴染んだ「万年筆」にまつわる思い出は尽きない。

その代わりに今は「ボールペン」が担っているようだが、「書き心地」や「書体」を好む万年筆の愛好家が絶えず、名品と呼ばれている万年筆は、中古でも求める方があるという。

（表紙の絵と文：生きもの委員 塩田 敏治）



太陽光発電は載せたら損をする？(日経アーキテクチャの記事から)

自然エネルギーは温暖化防止に役立つといえども、気になるのはやはり「コスト」です。前真之東京大学大学院准教授が日経アーキテクチャ 2023.10-26 号に「エコハウスのウソ 2025③太陽光発電は載せたら損をする？」という記事を載せていたので掻い摘んで紹介します。

まず、表題の問いに対して、前氏の答えは、
・太陽光ヘイト(憎悪)がまん延しているが、エコハウス三種の神器の中で太陽光発電は必須
・売電単価が下がった現状でも十分ペイする、電気代高騰をリスクヘッジできる最強アイテム
ということです。「エコハウス三種の神器」というのは、ZEH(ゼッチ, Net Zero Energy House)を目指すために必須の事項として前氏があげているもので、①断熱・気密②高効率設備③太陽光発電の三つを指します。このうち①や②がエネルギー消費を抑えるものに対して、③は唯一エネルギーを創り出すものであるため、最重要であると書かれていますが、これだけではペイするか不明です。そこで、記事中では以下の条件で試算を行い、11年間から15年間で「元が取れる」と試算しています。興味深いのは、FIT 開始時の2012年に導入した場合の試算も行い、その場合

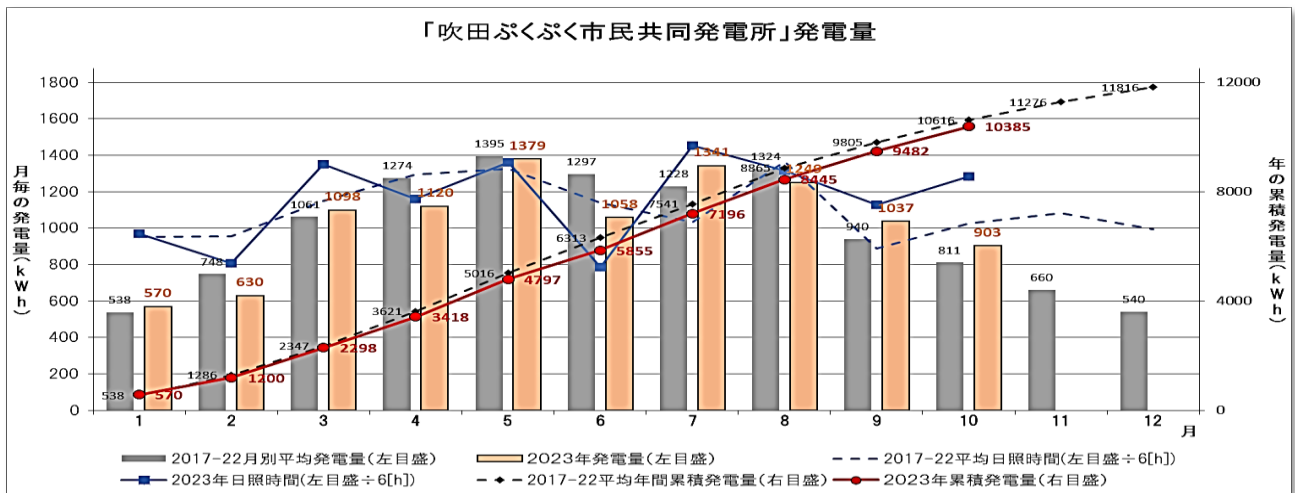
は13年間で元が取れるという結果から、売電価格は下落しているが、導入コストの下落や、買電価格の上昇により、元が取れる期間(CPT コストペイバックタイム)は大差ないという結果になっていることです。

導入年	2012	2023		
導入コスト	43.1	28.5		
売電単価	42	16		
買電単価	25	25	30	35
自家消費率	30%	30%	30%	50%
CPT(年間)	13	15	14	11

単位：導入コスト(万円/kW)/ 売電単価, 買電単価(円/kW)
試算条件：年間発電量 1125kWh/kW、FIT 終了後売電単価 10 円/kWh、発電効率低下 0.27%/年、パワコン交換 20 年毎 6 万円/kW、廃棄費用 1.5 万円/kW

電気代高騰に伴い「太陽光発電の導入メリットは、かつての売電収入から、買電支出の削減に移行している。」その意味で、導入コストの低減だけでなく、自家消費率の向上に対する工夫が欠かせません。まだまだ、「コスト」を良くする余地は残っているように思われます。ご興味のある方は記事をご覧ください。興味のある方は記事をご覧ください。

吹田ぶくぶく市民共同発電所の発電概況は以下の通りです。8月概況：日照時間が対平均値約 97%に対して、発電量は約 94%でした。9月概況：日照時間が対平均値約 127%に対して、発電量は対平均値約 110%でした。10月概況：日照時間が対平均値約 125%に対して、発電量は対平均値約 111%でした。1~10月累計で、対平均値約 98%の発電量となっています。この秋は好天でした。



1. 北千里希少植物観察会(10月12日)

生きもの委員会 平軍二・尾方義雄

北千里での希少植物観察会(+調査会)は、16名(会員10名、非会員6名)の方々に参加していただいた。

①北千里の希少植物(「レッドリストすいた 2024」に掲載予定種を含む)

種名	吹田市	大阪府	環境省	観察	種名	吹田市	大阪府	環境省	観察	絶滅危惧カテゴリー
1 コケオトギリ	A			◎	17 スズサイコ	B	VU	NT	◎	1. 吹田市 絶滅危惧種 A 吹田市内から絶滅の危険性が高い種 絶滅危惧種 B 吹田市内から絶滅の危機が増大している種 絶滅危惧種 C 絶滅危惧種Bほどではないが 吹田市内から絶滅の危機が増大している種 2. 大阪府・環境省 絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 絶滅の危機が増大している種 準絶滅危惧種 (NT) 存続基盤が脆弱な種
2 イヌザクラ	A			コース外	18 キキョウ	B	VU	VU	コース外	
3 リンボク	A			コース外	19 ウシノシツペイ	B			○	
4 ケアクシバ	A			コース外	20 ヒメハギ	B			季節外	
5 フデリンドウ	A			季節外	21 ワレモコウ	C			◎	
6 アイナエ	A	GR+EN		◎	22 クララ	C			○	
7 イヌセンブリ	A	VU	VU	○	23 ノアズキ	C			○	
8 コカモメヅル	A			○	24 スマトラノオ	C			○	
9 カワヂシャ	A	NT	NT	コース外	25 オオトラノオ	C			○	
10 オトコヨモギ	A			○	26 ウツボグサ	C			○	
11 ササユリ	A			コース外	27 タツナミソウ	C			コース外	
12 ソクシンラン	A			季節外	28 ツリガネニンジン	C			○	
13 ヤマサギソウ	A	GR+EN		季節外	29 ギンラン	C	VU		コース外	
14 オオアブラススキ	A			◎	30 メガルカヤ	C			◎	
15 コガマ	A			コース外	31 オガルカヤ	C			◎	
16 ガマ	A			コース外	32 カナビキソウ	C			◎	
					33 カワラマツバ	C			○	
					34 アリノトウグサ	C			○	

今回資料には現在集約中の「レッドリストすいた 2024」に掲載予定の植物種で、北千里に生育している種のまとめは上表の通りで、前号に報告したコガマ・ガマの2種を含めた絶滅危惧Aランク16種、BCランクを含め34種をまとめた。この34種を、イ)今回の観察会で花・実が確認できる種(◎8種)、ロ)葉・幼苗が確認できる種(○12種)、ハ)季節的に今は確認できない種(季節外4種)、ニ)観察会コースと外れて確認できない種(コース外10種)に区分して表示した。観察会ではイ)ロ)のすべてを観察、希望者のみであるが終了後に、ハ)コース外で1.5km離れた所に生息、吹田市ではここにしかないコガマ・ガマを観察してもらった。

②イヌセンブリの調査

観察会(+調査会)日程はイヌセンブリ生息地全域で調査できるよう、イヌセンブリの花の咲く日で草刈り前と思われる10/12に設定した。しかし、今年は夏の日が長かったためか、花株が無く、調査はできなかった。→

後日花が咲いた日に調査を予定していたが、花が咲く前10/18に草刈りが行われ、本調査ができないままとなった。幸い尾方が昨年度59株群生していた場所を調査区域として設定しており、刈り残されており25株の生育が確認された。→

今年のイヌセンブリはこの25株のみとなるため、ここで生育した種子で、来年度用に種まきを予定している。



③アイナエ

イヌセンブリ同様一年草であることから、生育数減少が懸念されるアイナエについては花の群生を見ることができ、数百株ありと確認されたので、詳細調査はしなかった。

以上、イヌセンブリの花は見られなかったものの、まずまずの観察会日和となった。

2. 大阪自然史フェスティバル 2023 への参加

生きもの委員会 平軍二

大阪市立自然史博物館では 2003 年から毎年 11 月に大阪自然史フェスティバルを開催しており、今年で 20 周年を迎えた。関西のみならず全国から 100 団体を超える自然に関わるサークルや、地域の自然保護団体、企業等が一堂に会して出展している。来場者は毎年1万人を超え、各団体の活動紹介やワークショップ等を通じて、自然の現状や自然に関わる楽しさを体験しているが、今年の入場者数は

18日(土)8,000人 19日(日)11,000人 計19,000人と、盛況であった。すいた市民環境会議は小田会長はじめ18日8人、19日7人の協力により、展示とクイズを実施した。

・展示 レッドリストすいた 2023(守りたい吹田の生きものたち)

すいた市民環境会議は、その年の生きもの委員会の活動からテーマを選んで展示してきたが、今年は「レッドリスト 2023(+ブラックリスト)」を展示するとともに、レッドリストに掲載の絶滅危惧 A ランク8種の種名を当てるクイズを実施した。



(環境会議の展示)



(クイズ参加者)



関西大学9本立クスノキ

・環境会議のレッドリストクイズへの参加者

19日 18人、20日 86人、計 104人小学生や親子で参加が多かった。

・**展示を見た方の感想** レッドリストすいたに「サンショウモ」が記載されているが、吹田市にサンショウモのあることはすごいこと。サンショウモを探したが、東京から名古屋までに1か所しかなかった。

・**会報「吹田の郷」を読んだ後の感想** 会場で無料配布した会報「吹田の郷」、内容が素晴らしいので毎回読みたいと電話連絡があった。枚方市在住の方が、入会して下さい。(以上 20231126 記)

次回、生きもの委員会の観察会案内

「関西大学の大きな木」 (大木の生きる厳しさ)

内容 最近レッドリスト作成もあり、希少植物(野草)観察会を続けてきたが、今回は久しぶりの大木観察会を関西大学で開催する。

日時: 12月26日(火)9:30~12:00頃

集合: 阪急関大前駅南改札東出口(関大南門付近)

持ち物: あれば吹田の古木・大木 VolIII

参加費: 会員 200円、非会員 300円

担当: 平軍二、尾方義雄

申込: 電話 090-6901-1425(平)、

メール g-hira@nifty.com)

カラー資料を準備すること、雨天開催日変更連絡のため、必ず申し込んでください。

2023 プラごみゼロアクション

神崎川河畔 海洋プラスチックごみをへらそう！

報告：生活環境委員会 喜田久美子

11月23日(木・祝)、小春日和の江坂から神崎川河畔を舞台に「プラごみゼロアクション」を開催しました。昨年は雨で中止となったので、2020年以来3年ぶりの開催です。

参加者はおとな14名・子ども10名、スタッフ16名(環境会議9名・アジェンダ資源部会4名・学生3名)、講師は原田禎夫さん(同志社大学経済学部准教授・NPO 法人プロジェクト保津川代表理事)。41名で江坂を出発！



◀原田先生は意欲的。グレーティングを上げて深い溝からごみを集める。
◀先生の熱い気持ちが参加者やスタッフに伝わっていく。

3, 4人でグループをつくり、1人が記録係。江坂エリアでは細かな散乱ごみが多い。▶

今回も吹田市からトングやごみ袋を提供してもらった。ごみ袋は吹田市に隣り合う中核市4市(NATS)共通の地域清掃用のもの。バイオマスプラスチックでできているとか。
説明する 小田会長▶



何のかけらか、プラスチックの破片が散乱していた。取ろうとするがなかなか。▼



◀「それは何？」
「タオルだよ。」

自販機の周りに空容器が散乱している。ごみがごみを呼んでいる。▼



◀河原で原田先生からお話を聞く。
この夏に訪問されたフィンランドなどの取組みを紹介。スーパーに回収機械があり、缶、びん、ペットボトルを出すと1本30円程度戻ってくる(デポジット)。イタリアではごみ袋にICチップがついており、ごみ量を計算して請求がくる。ごみ排出量はひとり年間50kg。日本人の1/6だ。吹田では焼却場建設に100億円かかる。ごみを減らすとその他のところに税金が使える。ごみ問題は、私たちの税金の使われ方の問題でもある。

マンションと道路の隙間に洗濯機が捨てられていた。▼



神崎川河畔は草刈りが終わり、一見きれいだが、植え込みの陰にごみがひそんでいた。最終地点をめざして急ぎ足。▼▶



▲河原でスタッフが引いてきたリヤカーと合流。今度は学生ボランティアが引く。発見した自転車2台を乗せて楽々引いていく。▼



▲今回は神崎川にかかる橋について、小田会長の説明を聞きながら歩いた。江坂から最初に出会うのは十八条大橋。新御堂筋が通る。古代の条里制で西成郡の起点、飛田(今の阿倍野)から一条654mで数えて18条(約11.7km)の場所が淀川区十八条。そこに架かるのが十八条大橋。十三(じゅうそう)も阿倍野から654m×13で約8.5kmにある。大阪市淀川区と吹田市を結ぶ大吹(おおふき)橋はJR京都線に並んでいる。夏至の日をはさんで一週間、この橋から見る夕日は神崎川の下流方向に沈む。19:10ごろから楽しめる。



最終地点は、中の島公園付近の河原。集めたごみから缶・びんなど不燃物を取り出し、分別し計量した。



今回の活動では『川ゴミ調査カード』（制作：荒川クリーンエイド・フォーラム/監修：JEAN）を使ってみました。これは、International Coastal Cleanup（ICC）に準拠し、種類ごとにごみの個数を数えながら拾っていくものです。（International Coastal Cleanup は、アメリカの環境 NGO「オーシャン・コンサーバシー」が呼びかける国際海岸クリーンアップキャンペーン。日本のコーディネイトは一般社団法人 JEAN）この調査カードの細かな分析はまだですが、食品の容器ごみ、タバコの吸い殻・フィルター、不法投棄ごみの多さを実感しました。

街のごみは、やがて川ごみへ、そして海ごみとなって生態系を脅かしていきます。街や川でごみを拾うことは散乱するごみの実態を知り、その海への流出をふせぐ点で大きな意味があります。しかしなにより大事なのは、私たちがごみ問題に気づき、くらしからごみを出さない仕組みをつくるために考え、行動を起こすことなのだと思います。

●結果は下表のとおり

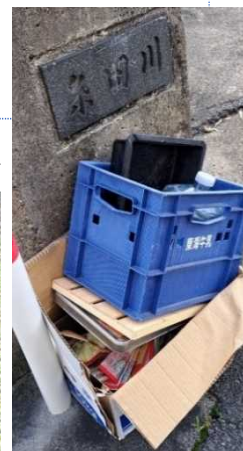
	江坂	神崎川	小計
可燃ごみ	4.8 kg	12.9 kg	17.7 kg
不燃ごみ	1.8 kg	16.1 kg	17.9 kg
計	6.6 kg	29.0 kg	35.6 kg

江坂で数や種類として多かったのは、タバコの吸い殻 702 個、食品のポリ袋（菓子袋など） 22 個。不燃ごみはほとんどが缶とびん、不法投棄の洗濯機もありました。

神崎川では、不燃ごみのうち缶とびんは 5.5 kg、傘 4.3 kg、保温ポット 1.9 kg でした。ほかに計測できなかった自転車のフレーム 2 台分がありました。数や種類として多かったのは、タバコの吸い殻 150 個、食品のポリ袋 52 個、食品のプラ容器 38 個のほか、傘 10 本、毛布、ふとん、どんぶりなど。また収集はできなかったのですが、ペットボトルがいくつも川を流れていきました。

また不法投棄ごみの塊をここでも数か所確認しました。これらは関係部署に知らせることにしています。

不法投棄ごみ 神崎川▼ 江坂▶



▲ 3 時間の活動、お疲れさまでした。ごみ拾いはなぜ楽しいのだろう。

まちなみ探訪の第3弾として、今回は10月31日の10:00から実施しました。山田地区を探索のため、阪急山田駅前の「夢つながり未来館」前から解散地の山田伊射奈岐神社までを、表題のテーマに沿って計画したルートで散策することにしました。

天候は青空の広がるまち歩き日和となり、スタート直後は少し肌寒い気温でしたが、王子池付近まで進むと背中に汗がにじむのが感じられるほど暖かく最高のサポートで散策を盛り上げてくれました。

参加者は好奇心旺盛な8名の老若男女がそろい、歩きだしたら目につくものは何でも見てやろうと、景観から、地形、植物、灯籠、地蔵など、納得がゆくまで確認します。

今回の散策テーマは旧家のまちなみが、どのように維持改善されているのかを確認するためのポイントとして

- ① 解体し新しい住宅へ改築
- ② 介護施設などへの転用
- ③ デイサービスへの流用
- ④ カフェなどへの転用
- ⑤ 駐車場などへ転用

などについて見聞しました。

もう一つは事務局から提案を頂いた二番目のテーマとして、山田川に架かる橋を上流から確認、見聞して現地の情景を眺めながら名前の由来などを考察するなど少し違った角度から眺めてみることにしました。

.....

山田地区内の山田川に架かる橋の数は約22か所あり今回のコースには8カ所の橋が架かっており上流から上極楽橋、極楽橋、西かいち橋、垣当橋、真倉橋、追手橋、吉田橋、宮前橋となる。

それぞれの橋の景観と名前の由来について想像しながら歩いてみた。

極楽橋：

聖域と俗世を分ける境界という意味があるとするれば、この地に当てはめると王子池東の高台にはむかし八王子神社があったことと、その東の高台には今も愛宕神社が存在しており、この辺りのことを指しているのか、まだまだ遠くその先の勝尾寺辺りを表しているのか想像にしかない。



西かいち橋：

これはこの地の字名を表しているとみえる。かいちとは昔の集落には歩いてすぐの所、近いところを指しているとみてよいだらう。垣内とも書く。



垣当橋：

垣当は垣内の（かいと）と同じで、各村の中心をなす集落部分で山田川沿いの上村・中村・小川村・下村のそれぞれに字垣当（あざかいと）または字垣内（あざかいち）がある。川は、上村の「垣当」を離れて、中村・小川村に向かう。上村の「垣当」が左岸にあったのに対して、中村の「垣内」は右岸に形成された。

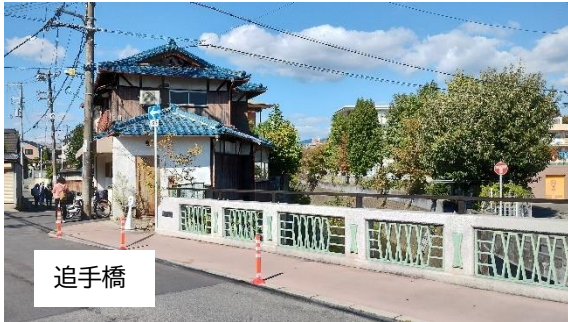
真倉橋：

枕が関係しているとか。この地は小字名が「道場山」といわれ円照寺の修行僧が修行に疲れて付近で寝てしまったため枕を真倉と記して真倉橋と命名したとの言い伝えがのこる。



追手橋：

近くに山田城の仮定地があることから追撃するという意味が込められており、攻めてくる敵を食い止め、更には城の外へ出て追い撃ちをかけるという戦術的な意味がある。



追手橋

吉田橋：個人名を表している。この付近の山田上に「郷蔵」があり大庄屋の吉田家が采配していたといわれている。

宮前橋：山田伊射奈岐神社の参道に架かる。

ルート上の二つ目の橋

「極楽橋」を北へ進み山田のまちなかを通る「小野原街道」へ突き当たる右角には小さな一石五輪塔が祀られ拝み石も塔の直前の道路角に配置されていて、昔から大切にお祀りをされてきたことが判る。



宮前橋（参道）

散策ルートの橋を渡ったり戻ったりしながら、いつものルートにある石仏群を見学したが右端の一石五輪塔の棹部にかすかに文字が読めた。後日にメンバーの長老が調べて種子であることが判った。仏や菩薩を梵字で表すことで一字からすべての功德が生じる事で植物の種子にたとえ種子（しゅじ）と呼ぶらしい。正面はア：日天子、右面はアク：不空成就如来、左面はアー：大日如来、背面はアン：普賢菩薩であることを教えて頂いた。



街道筋より少し山手へ登ると大型マンションの下に山田伊射奈岐神社の御旅所跡があり大きな石柱が建っている。昭和2年に建立された石碑には「伊射奈岐神社神幸所」と刻印されている。



南方面より

東方面より

話によると昭和40年ごろまでは、この場所で秋祭りには5基の神輿を集めて神事が行われていたらしいが現在は自治会のテニスコートとグラウンドになっている。施錠がしてあり外部の者は入ることができない。少し前まではこの場所の説明碑が建っていたが今回は見ることはできなかった。後に自治会長さんに問い合わせると、テニスコートの外からも見えるように移設を計画されているようだった。

ここまで来るとだいぶ山手へ登ってきたが昔は民家がなかったと思われる。万博外周路のアズキ火山灰層を含む地層の続きが、山田小川体育センター東の斜面にそれらしい地層としてみえるが、アズキ色の地層は確認できなかった。

散策も後半になり、時間が押してきたので予定していた西南戦争慰霊碑「故陸軍兵卒村山要蔵之碑」をパスすることにして、山一公民館や追手橋近くで、古民家を改修したレストランを眺めると、その向かいの古民家が更地になっていた。



イタリアンレストラン「curation」

最終地の宮前橋を渡って山田伊射奈岐神社の参道で、2018年の地震で倒壊した鳥居のモニュメントを観察して、解散は12時半ごろになった。



山田伊射奈岐神社 倒壊した鳥居

歩行距離は約6.5km 1万歩くらいを記録し、最後、バス停に向かった。

知床あれこれ

理事 小田信子

今年も10月初旬に「知床100平方メートル運動の森トラスト」の植樹祭に行きました。例年と違い、ウトロ(知床半島の中間の街・ホテル街)に着くなり「ヒグマがでるから一人で出歩かないように」が合言葉のようになっていました。9月からは連日街中にヒグマが出没しているとのこと。写真のヒグマは宿泊施設のすぐそばに餌を探しに来ました。歩いている場所は数m先の電気柵の向こう。そこから移動して木に登り、春より硬くなった(不味そうな)木の葉を食べていました。

「ヒグマが住んでいるところに私たちも住んでいる、人とヒグマの距離が近い知床。100年後、200年後も知床からヒグマが地域個体群として消えることなく、知床の自然の中で生活していることを望んでいます」

と考える知床の人たち。斜里町と知床財団が中心になってヒグマ対応をしています。でもひとたび人身事故が発生したり、農業、漁業、観光などの被害が大きくなれば、地域の“許容”失われて、ヒグマは積極的に駆除され、ヒグマが絶滅してしまう可能性も出てきます。それを防ぐヒグマ対策をしています。

ヒグマ出没時の対策

- ・威嚇、追い払い
- ・出没地点周辺の調査
- ・駆除
- ・捕殺個体の調査、採材

ヒグマが街中に出てこないための対策としては、

- ・誘引物除去(生ゴミや干し魚の管理徹底)
- ・森と街の境電気柵の設置とそのメンテナンス



などなど、多くありますが、人にとって危険な範囲でヒグマが目撃されたときは「ヒグマ情報」として登録した人たちにメールやSNSで情報を出しています。また、「クマ活」と称して地域や学校に出前講座をしています。それに使用するトランクキットにはヒグマ頭骨や毛皮からヒグマの食べるものなど多くの教材が入っています。

このように知床に暮らす人たちは試行錯誤、悩み、考えながら自然との共生に努力しています。下の写真で銃を構える知床財団の職員が持っている銃にはゴム弾が入っています。爆竹やゴム弾で脅して人は怖いものと思わせ、人のいるところには出てこないようにします。

この知床を私は応援し続けます。



知床財団ホームページより



浜屋敷「秋の手づくり市」で森のクラフト 10/21 (土)

生活環境委員会
喜田久美子

今年も浜屋敷の秋の手づくり市に参加。秋晴れのすがすがしい一日でした。環境会議は今年も「森のクラフト」ワークショップ+手づくり品バザーでの出店です。

41 店舗も出るのでもブースは狭く、材料も多いのですが、そこで膝を突き合わせるようにして、作品を作っていきます。「昨年も来ましたよ」とおっしゃる方もいて、子ども 15 人、大人 10 人が参加してくれました。スタッフは 8 人。スタッフも休憩時間には市を楽しみましたよ。



▲委員の陶芸作品や組紐が人気、リースも。

スタッフが
道具や材料の付け方を教え、
あとは好きなように作ります。▶



おしらせ

12/10(日) 13:30~

江坂大池地区公民館の環境保全講座で「森のクラフト」をします。

クリスマスや正月用に作ってみませんか。

定員 20 名

参加費 500 円

応募は公民館まで 電話 06-6385-8997



投稿記事を募集しています！

私の好きな素敵なスポット まちが変わりました お勧めの1冊 などなど

皆さんに知ってほしい記事やニュースも歓迎

会報委員(記者・編集・印刷・お手伝い)も募集

会報委員会 金指 弘 (メール:kanasashi@sutv.zaq.ne.jp FAX:06-6310-7333)